

平成26年成人を祝う会を自分たちで

熊野町では、成人式の式典を新成人自らが作り上げています。今年も実行委員が集まり準備をすすめています。これまでに式典の内容や役割、記念品などを検討してきました。

所 町民会館

時 平成26年1月12日(日)午後1時受付開始

午後1時半 記念撮影～式典・懇親会など

午後3時半 終了

対 平成5(1993)年4月2日～平成6(1994)年4月1日生まれの人

※現在、町外に住民登録をしている人でも、町の成人を祝う会(成人式)へ参加することができます。希望する人は、住所・氏名・連絡先などをお知らせください。(熊野町ホームページ「教育・文化・スポーツ」→「その他」→「成人式」のFAQ集を参考にしてください。)

申 問 生涯学習課 ☎820-5621 shogai@town.kumano.hiroshima.jp



—成人への想い—

(平成26年成人を祝う会を迎える実行委員)

「成人を迎えて」

堀野 有希

私が20歳になって、社会に出て働いている以上、自分のやったことに責任を持てる人間になろうという思いです。また、無事20歳を迎える事ができたのは両親や先生、友人とたくさんの方に支えられたからです。しっかりと感謝して人の繋がりを大切に人に頼るだけでなく、周りから頼りにされる、そんな人間になりたいです。

「成人を迎えて」

伊藤 裕基

成人になるという事は今まで親を頼りにしていた自分の意識を変え、自分で考え、行動する力をつける事だと思います。少しずつでいいので自分の力で解決していく心構えを作っていく、社会でも信頼されるような大人になっていきたいと思っています。

「感謝と自戒」

徳田 香澄

私は今日まで熊野町で暮らしてきました。無事に成人式に臨めることを嬉しく思います。今まで育ててくれた両親、祖父母、親戚、支えて下さった先生方、地域のみなさまのおかげです。責任ある行動をとれる大人としての自覚を持ち、より一層気を引き締めたいと思います。

「自覚と責任」

牟田 健次郎

私がこのたび、無事に成人を迎えられたのは、私を支えてくれた多くの方々のおかげだと思っています。これからは、一人の大人として、今まで以上に自覚ある行動をしていきたいです。また、感謝の気持ちを忘れず、色々なことを学び、成長していきたいと思っています。

「成人を迎えて」

西林 慎一郎

私は、成人を迎えるにあたって、まず両親に感謝します。小さい頃から野球をしてきた私を、ずっと支えて頂きました。私が将来子供を授かった時、子供がやりたいことを精一杯応援したいと思いました。そして、これからは何事も自分で責任を取らなくてはなりません。しっかりと自覚を持って少しずつ大人になっていきたいと思っています。

「成人を迎えて」

山本 知奈美

私は、これまで家族や友達、先生など多くの人に支えられ、無事成人を迎えることができました。20年間、毎日充実した日々を過ごせたのも支えて下さった皆様のおかげです。本当に感謝しています。これからは、地域医療に携わり、地域の方々皆を支えていけるように頑張りたいです。

平成25年秋の褒章

受章おめでとございます

秋の褒章は、社会・公共のため尽くした人、社会の各分野において優れた行いをした人に贈られます。秋の褒章の黄綬は一筋に仕事に励み模範となる人に、緑綬はボランティア活動など社会に奉仕された人や団体に、それぞれ授与されるものです。今回熊野にお住まいの方、団体が黄綬、緑綬をそれぞれ受章されました。(総務課)

黄綬褒章

墓信智幸さん

三菱重工工業株式会社
機械・鉄構事業本部
機械工作部 生産管理課
範師・主任チーム統括

黄綬褒章に墓信智幸さんが選ばれ、11月13日に東京都内での授与式、皇居での拝謁式に参列されました。墓信さんは三菱重工工業株式会社でタービン、コンプレッサーの組立から海外での据え付け指導に従事されており、幅広い世代へ技能指導をされています。

受章者の言葉

黄綬褒章の授与式、皇居拝謁式に参列しあらためて大変な光栄と感じております。本受章を機会に地域発展に貢献していきたいと思っております。



緑綬褒章

くまのボランティアふたば

会長の中村サツエさんと、副会長の五拾免康枝さんにお話を伺いました。



25年間続く

ふたばの活動

平成元年に5人の会員がくまのボランティアふたばを立ち上げ、西公民館で月1回の食事会の開催、介護施設への慰問などの活動を25年間続けています。現在27人の会員で活動していますが、多いときには40人の会員が所属していました。25年間の活動の中には大変なこともありましたが、会員一人ひとりの力添えのおかげでここまで続けることができました。

未来のボランティアの育成につなげたい

12月には第三小学校の生徒を交えて食事会を行う予定です。第三小学校の生徒との交流は長く、20年ほどになります。学校の授業で生徒たちが公民館を訪れたのがきっかけで、今でも交流が続いています。食事会で作るなどの体験を通じてボランティアを身近なものとして感じてもらい、この交流が将来のボランティアの育成につながればと考えます。

得意分野をいかして

おもてなし

ふたば主催の食事会では、会員が育てた野菜や、手作りの味噌で料理を作ります。会員一人ひとりが料理や手品、フラダンス、三味線など得意分野を活かし、もてなしています。また、食事会にいつも来てくれる人が顔をみせない時は、その人の家に行き安否を確認するなど、声かけも行っています。